

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義	
科 目 名	医療倫理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15	(1)
対 象 学 年	3年生		学期	前期 火曜3・4限	教室名		
担 当 教 員	陀安 広二						
実務経験と その関連資格							
《授業科目における学習内容》							
医療に関連する倫理問題を学習することにより、将来医療に携わる者として基本となる知識や心構えを理解し、同時に、自己と他者との関わりについて主体的に考察し、自律的に行動できる力を身につける。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験(90%)、授業時のレポート(10%)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
(1) 教科書『はじめて出会う生命倫理』(玉井真理子・大谷いづみ編 有斐閣) (2) 授業時に配布するプリント							
《授業外における学習方法》							
授業時に適宜指示する予習・復習課題(教科書を読む、配布プリントを読む、レポートを提出する、映画作品を観る等)							
《履修に当たっての留意点》							
人と人の関わりを考察するのが倫理学です。医療も人と人の関わりが基盤となっています。医療従事者が、人と人の関わりについて、あるいは人間存在についてどのように理解しているかによって医療の質が変わります。医療人の卵として問題意識を高く持って授業に臨んでもらいたいと思います。							
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	授業を通じての到達目標	倫理とは何かを理解し、授業の意味を知る		プリント	身近な倫理問題を探す		
	各コマにおける授業予定	イントロダクション (授業の進め方と授業の意味に関して)					
第2回	授業を通じての到達目標	過去と今を比較し、医療倫理の変化を説明できるようになる		教科書・プリント	「ヒポクラテスの誓い」の内容について、現代との共通点、相違点を見つける		
	各コマにおける授業予定	「ヒポクラテスの誓い」の倫理と現代の医療倫理					
第3回	授業を通じての到達目標	出生前診断について知り、倫理問題を理解する		プリント	映画「八日目」(1997年フランス・ベルギー合作 ジャコ・ヴァン・ドルマル監督)を鑑賞する		
	各コマにおける授業予定	出生前診断の倫理 NIPT ディスカッション 1					
第4回	授業を通じての到達目標	出生前診断について主体的に考察し、意見を表現できるようになる		プリント	映画「八日目」(1997年フランス・ベルギー合作 ジャコ・ヴァン・ドルマル監督)を鑑賞する		
	各コマにおける授業予定	出生前診断の倫理 NIPT ディスカッション 2					
第5回	授業を通じての到達目標	ハンセン病問題について知り、病気と偏見の問題を理解する		プリント	映画「あん」(2015年 河瀬直美監督)を鑑賞するか、または、小説「あん」(ドリアン助川・著)を読む		
	各コマにおける授業予定	ハンセン病問題					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	授業を 通じての 到達目標	現代医療の基盤であるインフォームド・コンセントについて知る	教科書・プリント	教科書第5章(p.97-109)を読む
	各コマに おける 授業予定	インフォームド・コンセントとパターナリズム		
第 7 回	授業を 通じての 到達目標	終末期の患者に対する医療について知り、ケアという行為を理解する	教科書・プリント	教科書第8章(p.167-183)を読む
	各コマに おける 授業予定	終末期医療1 ホスピスとは何か 1		
第 8 回	授業を 通じての 到達目標	終末期の患者に対する医療について知り、ケアという行為を理解する	教科書・プリント	教科書第8章(p.167-183)を読む
	各コマに おける 授業予定	終末期医療1 ホスピスとは何か 2		
第 9 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 10 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 11 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 12 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 13 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 14 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 15 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			